

東京の地下鉄の一元化等に関する協議会（第1回） 議事概要

1 日時

2010年8月3日（火） 11時～12時05分

国土交通省8階国際会議室

2 出席者

国土交通省：本田鉄道局長、高田審議官

財務省：向井理財局次長

東京都：猪瀬副知事、河島都技監、金子交通局長

東京地下鉄株式会社：梅崎代表取締役社長

3 東京の地下鉄の一元化等に関する協議について（会議資料1参照）

協議の進め方として、本協議会を設置し、

①東京の地下鉄の一元化、東京メトロの早期完全民営化等の課題を関係者間において共有化し、具体的な解決策やサービス向上策の実現に向けて、実務的な検討を行うこと。

②スケジュールとしては、8月上旬から年度内を目途に開催することなどが了承された。

4 主な発言要旨

〔東京都〕

○ 通勤地獄等に速やかに対応するために二元化して地下鉄を建設してきた。今後は、大規模な建設はなく、運営が中心となる。また、東京メトロ法制定時と比較し、現在、都営地下鉄の経営は改善されていることから、一元化を議論するのに良いタイミング。法律に規定はあるものの、株を売ってしまったら一元化はできないので、今が東京の地下鉄を一つにする最後のチャンス。

〔国土交通省〕

○ 東京メトロの完全民営化は、昭和61年の行革審答申から言われている方針。また、メトロは優良会社であることは事実。現下の株式市況の状況を別とすれば、財務面では上場に懸念はない。東京メトロは投資や配当も行いつつ、その中で債務を

償還しているところ。いずれにしても、利用者利便の向上の観点から、地下鉄一元化について、完全民営化を踏まえて議論を行っていききたい。

〔財務省〕

- 国の交通政策との整合性を前提として、東京メトロの株主価値を高めていくことが重要。できる限り速やかに株式売却を行うべきとする東京メトロ法（附則2条）の範囲で議論されるべき。

〔東京地下鉄株式会社〕

- 東京メトロは株式上場に向けて社員一丸となって企業価値の向上に取り組んでおり、その努力が無にならないよう理解して欲しい。

〔東京都〕

- 次回協議会の場所は東京都側において行いたい。